

連携部会（医療関係）報告

1、部会目的

平成22年度10月より地域自立支援協議会定例会議における相談支援事業所の事業報告や地域の課題等から関係機関との連携・ネットワークの構築のため「障がい者の医療に関するバックアップ体制作り」に向け、具体的な解決策を協議する。

2、部会構成員

心の泉ヘルパーステーション、春日井市肢体不自由児・者父母の会、医師会訪問看護ステーション、コロニー中央病院、春日井市民病院医療連携室、春日苑障がい者生活支援センター、事務局

3、平成23年度開催日・内容

開催	日時 第二火曜日 10:00～	内容
第1回	4月12日	医療マップの作成について
第2回	5月10日	医療マップの作成、マップへの記載方法、マップ作成にあたってのアンケート内容
第3回	6月14日	医療マップの作成、アンケート依頼、医療的ケアに関する研修について
第4回	7月12日	医療マップの作成、アンケート内容、医療的ケアに関する研修について
第5回	8月9日	医療マップの作成、アンケート内容、医療的ケアに関する勉強・研修会について
第6回	9月13日	アンケート依頼、医療的ケアに関する勉強・研修会のための事業所向け意識アンケート調査の作成
第7回	11月8日	医療的ケアに関する勉強・研修会のための事業所向け意識アンケート調査の作成
第8回	12月13日	医療的ケアに関するアンケート調査の作成
第9回	1月10日	医療的ケアに関するアンケート調査の結果、今後の部会の方向性、取り組み
第10回	2月14日	医療的ケアの研修内容、医療マップについて
第11回	3月13日	来年度の部会の活動について

4、詳細

平成22年に部会が立ち上がってから、医療機関との連携、ネットワークの構築やヘルパー等の人材育成のための研修・勉強会について取り組んできた。その結果、コロニー中央病院の今後の動向を把握するため、コロニー中央病院へ働きかけたことで部会へ参加していただくことができた。また、医療機関やヘルパー事業所の実態把握

について情報交換を行うこともできた。

平成 23 年度の取り組みとして、①本人、家族、支援者が医療機関や訪問看護ステーションを知ってもらうために春日井市内の医療マップを作成する。②人材育成や支援者を増やすために、ヘルパー等が行う医療的ケアに関する研修・勉強会を行う方向性となった。

①医療マップの作成について

平成 22 年度に医療機関や当事者団体からの実態把握により個々に医療機関へ受診し、カルテや受診歴を作っていくことが大切ではないかという話になった。そこで、平成 23 年度では本人や家族が医療機関を受診しやすいようにバリアフリー情報をアイコン化（ピクトグラム）した医療マップを作成することになった。

他の自治体の福祉マップや施設のバリアフリー情報等の状況を調査し、中部大学との連携も視野に入れ活動してきた。また、医療機関への調査に向けてアンケート内容等を検討し、実施に向けて研究している。

②ヘルパー等が行う医療的ケアに関する研修・勉強会について

平成 22 年度にヘルパー等が医療的ケアを行うにあたり、問題点を確認した。また、現状把握を行ったことで制度を知らない事業所や障がい児・者の医療的ケアの現状を知らない支援者が多いのではないかとわかった。平成 24 年 4 月から制度化するため、平成 23 年度の活動では国の研修事業と照らし合わせながら、春日井市独自で人材育成のための勉強・研修会の開催を目的として行ってきた。

国の研修事業や制度の理解について情報共有を行い、さらに春日井市内の障がい福祉サービス事業所へ医療的ケアの実施についてのアンケート調査を行った。回答率はとても高かった。

結果を確認すると、大きな事業所は実施する予定がないこと、研修へ参加する時間が取れないことがわかった。一方、今後、研修が開催されれば受ける予定と回答した事業所が多くあったこともわかった。

5、平成 24 年度の取り組み

医療機関への受診については、本人が医療機関と繋がっていることが大切である。しかし、緊急時やかかりつけ医以外の病院にかかるときは、本人側も受診サポートカードなどなんらかの準備しておく必要もあると感じた。そのため、愛知県医師会や愛知県コロニーから発行されている「受診サポートカード」の活用に向けて、周知・啓発に取り組んでいきたい。

ヘルパー等が行う医療的ケアに関する研修・勉強会については、障がい分野に限られたものではない。介護保険課と協働して開催に向けて取り組んでいきたいと考えている。